

〈5月号〉

トマトとメロン

〈あらすじ〉

トマトとメロンという比喻を使いながら、人間はそれぞれに素晴らしい個性を持っており、それをのばしていくことが大切だと訴える相田みつをさんの詩。

相田さんはこの詩を通じて、私たちに何を伝えたかったのだろう。



上の人と下の人を比べたらだめ

人と比べることはしない方がいい

人に優劣をつけない
自分のまま生きる

人にはいろいろな生き方がある

一人一人似ていても全然違うものだ

人の生き方を決めつけてはいけない

他の人が他のひとの生き方にケチをつけたりしない

2つの違うものはどちらも同じものにすることはできない

競っているわけじゃないのに、人が勝手に競わせるのはおかしい

自分は自分の人生を生きる

人それぞれの生き方がある

どちらも応援してあげよう

他人と比べることはよくない。自分も相手も嫌な気持ちになるかも。

違うものを求められても自分はこれでいい！

自分らしく生きればいい

